

固定資産管理のご担当者様必見

● ● ● ● ●
**固定資産のExcel管理を止めるべき
5つの理由**

はじめに

固定資産管理は、会計管理の適正化や正確な固定資産税の算出などの観点から
企業経営に影響する重要な業務と言えます。

一方で、固定資産管理を自社で行っている企業のうち、2社に1社はExcelで管理されています。

Excel管理はミスや属人化のリスク伴う管理手法であることから、
このままExcelによる管理を続けることで、業務に様々な支障が生まれてしまいます。

そこで今回は、固定資産のExcel管理がもたらす5つの問題点を解説します。
Excel管理をされている企業は、ぜひ今のうちにご確認ください。

意外と知られていない？ 企業における固定資産管理業務の役割

業務に必要な設備や備品などを管理する、固定資産管理業務。
企業にとってどのような役割を担っているのでしょうか？



企業経営に影響する重要な業務

固定資産は、使用する期間が長期に渡ることから、会計上はその費用を減価償却することになります。

正しく減価償却を行うためにも、経理担当者は所有する固定資産の種類や耐用年数などを正確に把握しておく必要があります。

また、会計管理の適正化やセキュリティ対策などの観点から見ても、固定資産を管理することは、**経営の視点から見ても重要かつ不可欠**とされています。

経営視点で 重要といえる4つの理由

理由① 会計管理の適正化

固定資産の情報を正しく把握・管理することで、「会計上の減価償却が正しいか」「新規の計上分はあるか」「処分等の処理は必要か」などの確認が容易になる。

理由② 正確な固定資産税の算出

社内の固定資産の実情をしっかりと把握しておかないと、必要以上の税金を納めることにもなりかねない。

理由③ 適切な資産運用

同じものを何度も購入していないか、などムダな設備投資を削減できる。また使用状態を把握しておくことで、買い替え時の予測など予算管理にも活用できる。

理由④ セキュリティ対策

日頃から一定のルールに従って資産の保管場所や数量を適切に管理することで、滅失や盗難といった事件・事故のリスクを回避できる。

「企業経営に影響する重要な業務」 …だが、管理の実態は？

企業経営に影響する重要な業務である固定資産管理。実際は、どのように管理されているのでしょうか？



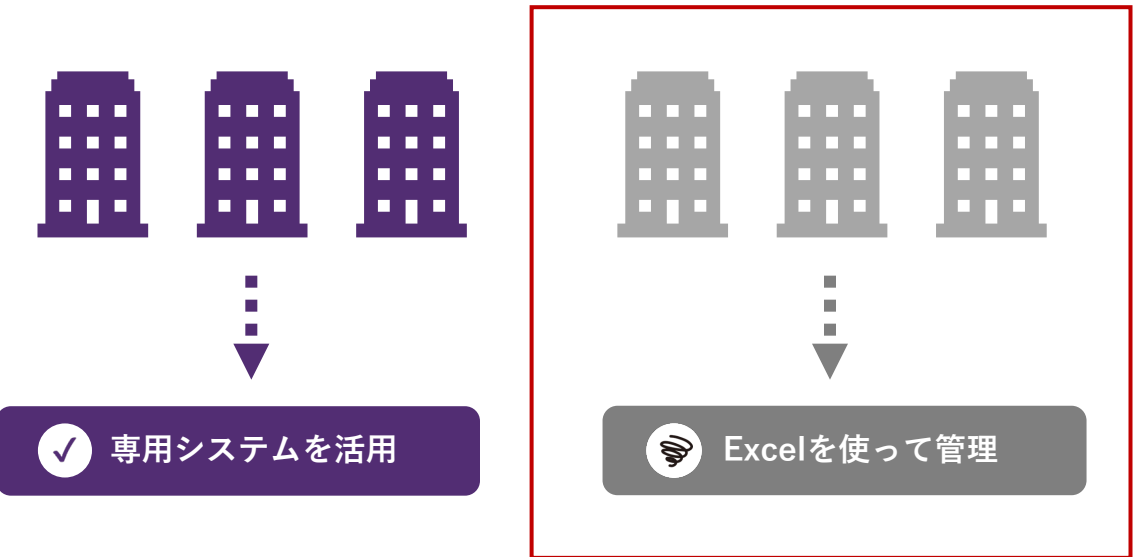
— 2社に1社がExcelによるアナログ管理

固定資産管理は、企業経営に影響する重要な業務であるにもかかわらず、OBCの調査によると、「2社に1社」がExcelを使ったアナログな管理を行っていることが分かりました。

※OBC調べ。自社で固定資産を管理している企業が対象。

また、課題に感じることは、棚卸作業や台帳の作成・更新作業、仕訳入力作業などが挙げられており、Excel管理によって業務が煩雑化していることも考えられます。

— 2社に1社がアナログ管理 —



経営に影響する重要な業務にもかかわらず、
Excelによって管理されている

このままExcel管理を続けてもよい？ 想定される「5つ」の問題点

このままExcel管理を続けると、業務にどのような支障が生じるのでしょうか。



問題点①

計算ミスが生じる

自社で保有する固定資産ごとに、減価償却費を計算する必要があります。

減価償却は税法に沿って行う必要がありますが、資産の種類によって償却率や耐用年数が定められており、**保有する資産に応じた複雑な計算**が必要となります。

また、償却中の資産を処分した場合や中古資産を購入した場合など、**ケースによっても異なる対応が必要**となることから、計算の過程でミスが生じるリスクが高まります。

償却費計算のプロセス

(1) 耐用年数を確認

ガス設備なら15年、テレビなら5年など

(2) 計算方法を選択

定率法、定額法など

(3) 減価償却費を計算

定率法…未償却残高×定率法の償却率

定額法…取得価額×定額法の償却率

資産ごとに異なる耐用年数や償却率の正しい選択や、計算方法に応じた計算式の適用などが煩雑になる

問題点②

別の担当者に引継ぎできない

Excelを使った減価償却費の計算や集計などは、Excel内で関数を組み自動化している企業がほとんどです。

関数を活用することで計算にかかる時間を短縮できます。しかし、Excel関数は個々の主観や知識に左右されやすい性質があることから、**最初にExcelを作成した人しか関数の意図を理解できない**ケースがあります。

また、業務の特性上、**専門知識が求められる**こともあり、属人化によって「その人以外分からない・担当できない」状態になってしまいます。



=IF(H5<=0,"",VLOOKUP(H5,償却率設定!\$C\$4:\$D\$103,2))										
減価償却一覧										
No	科目	資産名	取得年月	取得価格	未償却残高	耐用年数	償却率	月数	当期償却費	期末簿価
1	工具	測定検査工具	2024/12/1	1,500,000	1,300,000	6	0.319	12	414,700	885,300
2					0				0	0
3									0	0
4									0	0
5									0	0
6									0	0
7									0	0
8									0	0
9									0	0
10									0	0
11									0	0
12									0	0
13									0	0
14									0	0
15									0	0
16									0	0
17									0	0
18									0	0
19									0	0
20									0	0
21									0	0
22									0	0
23									0	0
24									0	0
25									0	0
26									0	0
合 計				1,500,000	1,300,000				414,700	885,300

問題点③

情報の一元管理ができない

固定資産の管理においては、資産台帳などのExcelで管理できる情報以外にも、稟議書などの**書類**や資産に関わる**写真**など、様々な情報を保管しておく必要があります。

これらの情報はExcel上で管理できないため、別途保管場所を設ける必要がありますが、**部門や拠点に情報が点在**している場合や、担当による**保管漏れ**などが発生することが考えられます。

情報が一元管理できていないと、**実態と不整合があった際の確認が難しい**などの問題に発展する可能性があります。

廃棄証明の写真



稟議書

稟議書		受付番号
決議年月日	年 月 日	決議
社 長	印	1. 可決 3. 条件付認可 2. 否決 4. 保留
件 名	金額 ￥ 368,768,000円	
提案事項		
提案理由		
期待効果		
添付書類		

請求書

請求書		2023年04月01日
請求者	全日本建設株式会社	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 全日本建設株式会社 TEL: 03-3442-1000
請求内容	2023年04月01日	2023年04月01日
請求金額	200,000円	200,000円
支払期日	2023年04月10日	2023年04月10日
支払場所	全日本建設株式会社	2023年04月10日
支払金額	200,000円	200,000円



除却理由



問題点④

仕訳起票の手間がかかる

固定資産管理においては、取得時の仕訳はもちろん、減価償却費の計上や資産の売却など、資産のライフサイクルに応じた様々な仕訳を作成し会計システムに入力する必要があります。

その他にも、企業が持つ資産によっては必要となる仕訳の種類が多くなり、手間がかかってしまいます。

適切な勘定科目を判断し、Excelを見ながら数字を転記する作業は、資産が増えれば増えるほど担当にとっての手間となります。

固定資産に関連する 仕訳の一例

資産の計上	リース取引の開始	減価償却費の計上
減価償却費の配賦	利息費用の計上	リース料の支払
減損損失の計上	圧縮額の計上	圧縮積立金の取崩
資産の移動	資産の除却	資産除去債務の不履行
リース取引の終了	リースの中途解約	建設仮勘定の計上

問題点⑤

法対応に伴うメンテナンスの手間がかかる

法改正に伴い税率や固定資産税の算出方法に変更があった場合は、利用しているExcelをメンテナンスする必要があります。**自治体ごとに確認**のうえ、税計算に使用している**Excel関数をメンテナンス**する作業が必要となります。

メンテナンスにおいては、手作業による関数の修正が必要となるため、手間がかかるだけでなく**人的ミス**が発生する可能性があります。また**メンテナンス漏れ**を防ぐための体制構築も難しく、正しい税額を計算できないリスクを伴います。



=IF(H5<=0,"",VLOOKUP(H5,償却率設定!\$C\$4:\$D\$103,2))										
減価償却一覧										
No	科目	資産名	取得年月	取得価格	未償却残高	耐用年数	償却率	月数	当期償却費	期末簿価
1	工具	測定検査工具	2024/12/1	1,500,000	1,300,000	6	0.319	12	414,700	885,300
2						0			0	0
3									0	0
4									0	0
5									0	0
6									0	0
7									0	0
8									0	0
9									0	0
10									0	0
11									0	0
12									0	0
13									0	0
14									0	0

- 自治体・資産ごとの評価額確認
- 修正箇所のピックアップ
- Excel関数手修正・・・



まとめ

いかがでしたか？

固定資産管理業務は、企業にとって重要な業務にも関わらず、Excelで管理されているケースが多い実態があります。思わぬ問題に繋がるケースもあるため、**資産数が増える前に見直し**することをオススメします。

Excel管理を続けることで起こり得る 「5つ」の問題点

問題点①

計算ミス
のリスク

問題点②

引き継ぎ
ができない

問題点③

情報の一元管理
ができない

問題点④

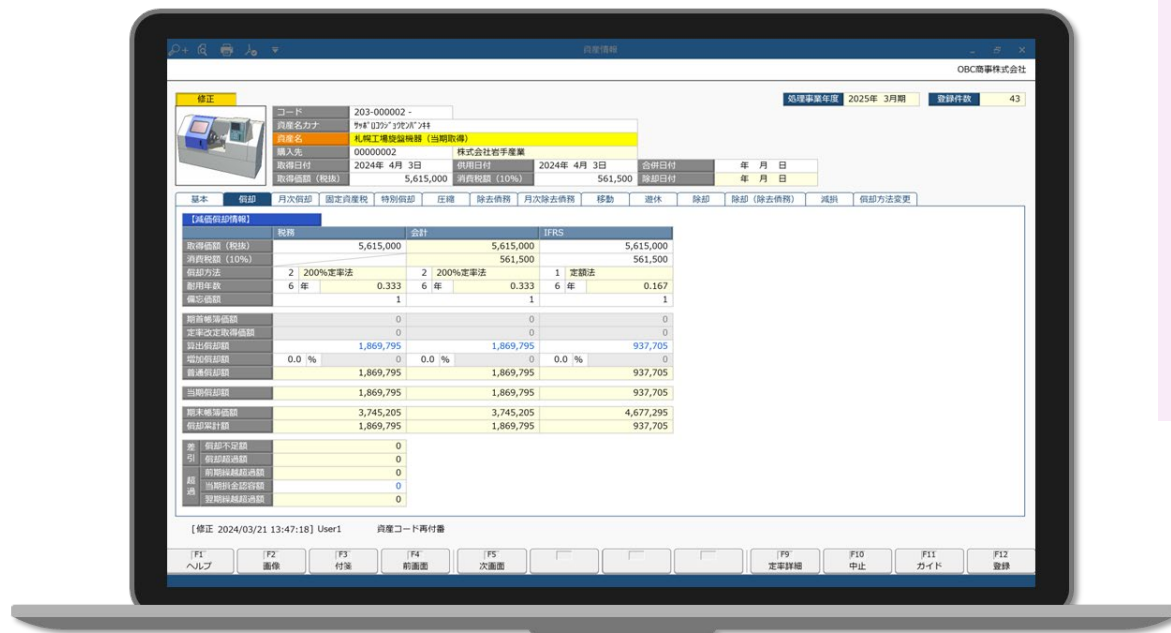
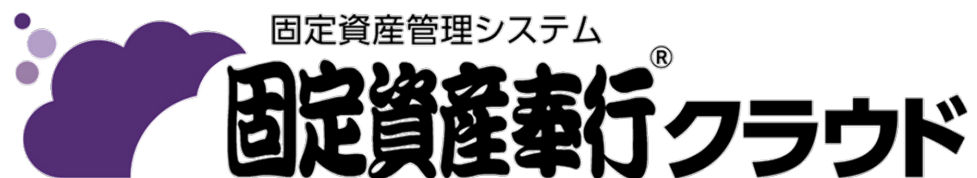
仕訳起票
の手間

問題点⑤

法対応
の手間

Excel管理の問題点をすべて解決！

「固定資産管理専用システム」のご紹介



- ✓ 必要最小限の資産情報を登録するだけで償却額や簿価などすべて自動計算
- ✓ あらゆる固定資産情報を一元管理
- ✓ 仕訳を自動作成・あらゆる会計システムに連携
- ✓ 常に最新の税制に自動で対応

クリックして詳細を試してみる